

かみね 議会だより

180号

●平成28年 第4回定例会(12月)

P2~8 こんなことが決まりました

P9~17 そこが聞きたい(一般質問)

P18~20 中学校子ども議会

P21 議会活動(視察研修報告)

上峰消防団 出初式

ハシゴ車(バスケット)に
乗った園児たち



ハシゴ車がはじめて
参加した出初式

子ども消防隊による
放水訓練



平成28年12月
定例会で

12月一般会計
補正予算否決!!

こんな
ことが

決まりました

13議案、1 諮問が可決、同意。

平成28年第5回臨時議会は11月28日に開催され、4 議案を慎重に審議し、原案通り可決しました。

平成28年第4回定例会は、12月9日から12月16日までの8日間の会期で開催され、上程された16議案の内13議案が原案通り可決、人事案については同意しましたが、1 議案については撤回し、補正予算については否決となりました。



町内の空き家

上峰町空家等の適正
管理に関する条例

賛成
全員

この条例は町内の空家等の適正な管理に
関し必要な事項を定めることにより、倒壊
等の事故、火災及び犯罪の未然防止並びに
生活環境の保全を図り、町民の安全な暮ら
しの実現を目的とするものです。

(平成29年4月1日から施行)

(表 面)

子どもの医療費受給資格証										
受給者	番号	0	2	0	1	2	3	4		
	氏名	上峰 太郎							男	女
	生年月日	平成 年 月 日								
	住所	佐賀県三養基郡上峰町大字坊所383番地 1								
自己負担額	有効期間	平成 年 月 日から 平成 年 月 日まで								
	入院	1医療機関上限1,000円/月								
	通院	1医療機関2回目まで上限500円/月								
	調剤	無料								
交付年月日		平成29年 4月 1日								
発行機関名及び印		佐賀県三養基郡上峰町長							印	
公費負担番号		8	1	4	1	0	0	0	0	

子どもの医療費受給資格証 (案)

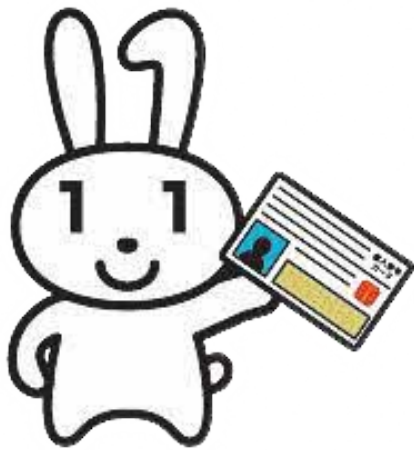
上峰町子どもの医療費
の助成に関する条例の
一部改正

一部改正

賛成
全員

従来受給資格者が医療機関に受給資格証
を提示して医療費の支払いをした後、町か
ら助成していたのが医療機関に受給資格証
を提示するだけで、町が直接医療機関に支
払うようになります。

(平成29年4月1日から施行)



マイナンバーキャラクター マイナちゃん

上峰町個人情報保護条例 の一部改正

賛成 全員

本人に関する個人情報を本人に提供する場合などは、通信回線による外部提供ができるようになり、役場で発行している各種証明書の一部がコンビニエンスストアで発行できるようになります。

(公布の日から施行)



カード見本

上峰町印鑑条例の 一部改正

賛成 全員

役場で発行している印鑑証明書がコンビニエンスストアで、マイナンバーカードを利用すれば印鑑証明書が発行できるようになります。

(平成29年2月1日から施行)

人権擁護委員候補者 の推薦について

賛成 全員

氏 名 末次 憲昭 (すえつぐ のりあき)
生年月日 昭和21年11月28日
地 区 郡境



議会議員の議員報酬及び 費用弁償に関する条例の 一部改正を撤回

長年休止になっていた議員の費用弁償支給を従前に戻すことで提案されたが、事前の執行部との協議の不備等の理由により、撤回されました。

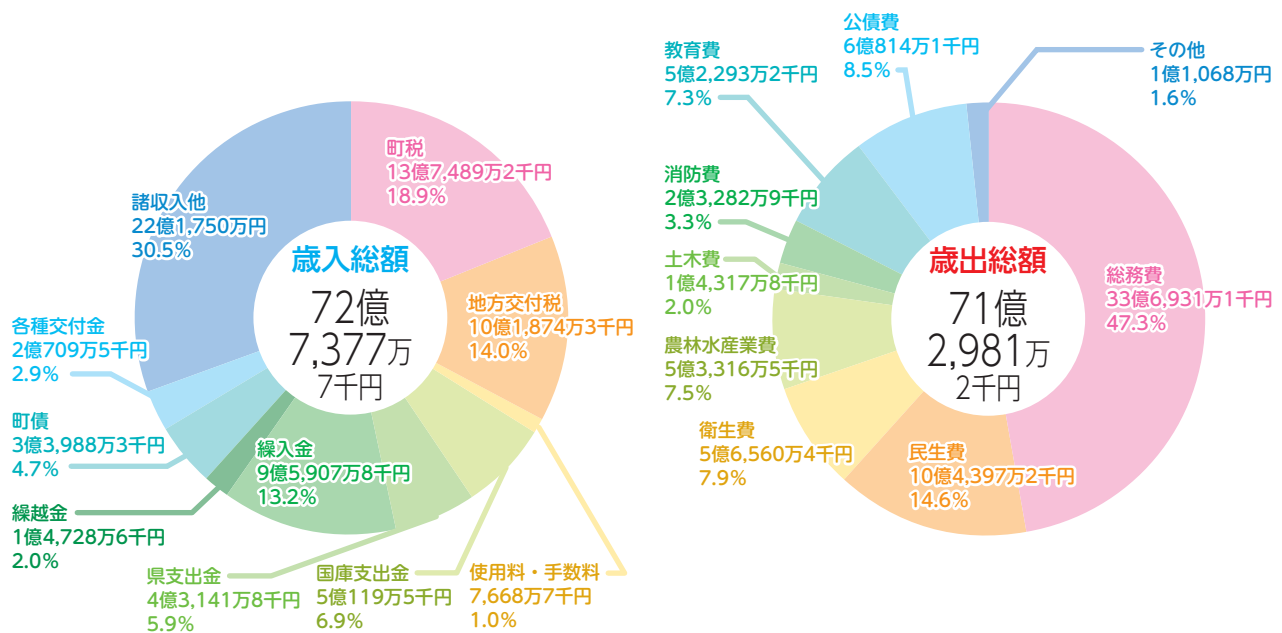
平成27年度 一般会計・特別会計 決算を認定

決算特別委員会委員長 原田 希

平成28年9月14日の本会議において、本委員会に付託された平成27年度上峰町一般会計歳入歳出決算及び各種特別会計歳入歳出決算について、去る9月26日、27日、28日の3日間にわたり厳正なる審査を行い、監査委員の意見及び執行部の内容説明を聞き、慎重な審査の結果、適正であることを認め全員賛成をもって認定すべきものと決定しました。

決
算

一般会計 歳入総額72億7,377万7千円：歳出総額71億2,981万2千円：差引額1億4,396万5千円



特別会計

特別会計名称	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	11億3,224万4千円	11億870万7千円	2,353万7千円
後期高齢者医療	9,333万1千円	9,252万8千円	80万3千円
土地取得	164万8千円	0千円	164万8千円
農業集落排水	6億9,253万6千円	6億7,973万8千円	1,279万8千円

主な財政指標

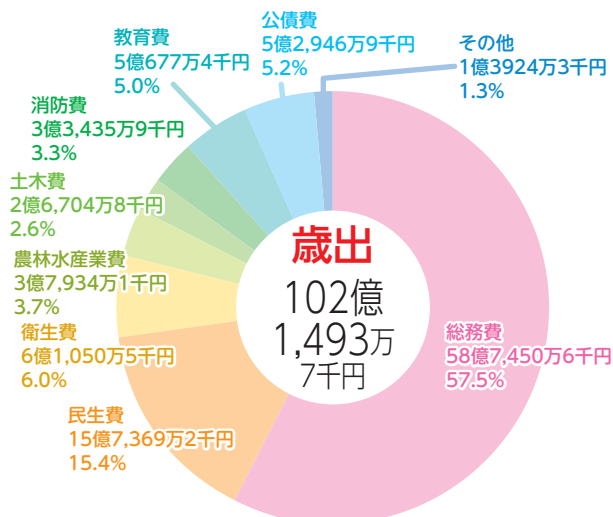
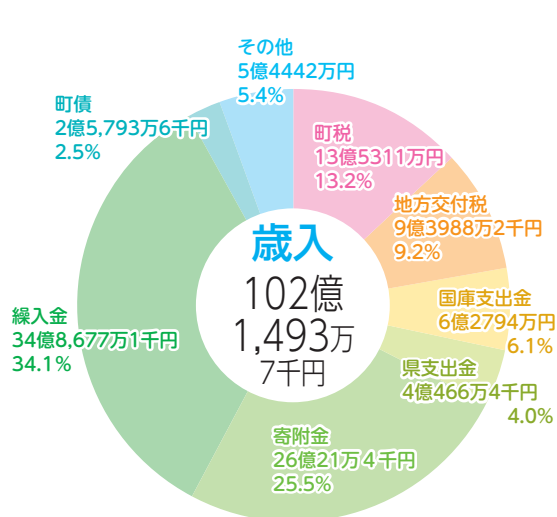
	指標の説明	H27年度	H26年度
財政力指数	町の財政力を表す指数。1に近い団体ほど自主財源の割合が高く、財政に余裕があるとされる。	0.61%	0.60%
経常収支比率	町の財政の弾力性を表す指標。数値が低い団体ほど自由に使える財源が多いとされる。	89.7%	97.5%
実質公債費比率	町の借金返済額が標準財政規模に占める割合を表す指標。18%を超えると起債発行の際に許可が必要となり、25%を超えると起債発行に制限がかかる。	15.4%	17.3%
将来負担比率	現時点で、町が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを表す指標。	—	37.2%

平成28年度 補正予算

13億8,913万9千円増額して、総額102億1,493万7千円となる。

本会期までの累計

予
算



歳入補正予算の主なもの (増額のみ)

- ◎ふるさと納税寄附金 5億円
- ◎ふるさと寄附金基金繰入金 8億8,573万9千円

※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

歳出補正予算の主なもの (増額のみ)

- ◎ふるさと納税謝礼 8億3,774万7千円
- ◎ふるさと納税ポータルサイト利用料 3,500万円
- ◎基金積立金 5億円
 - ・ふるさと寄附金基金

国に対し

意見書を提出!!

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

地方分権時代を迎えた今日、地方公共団体の自由度が拡大し、自主性及び自立性の高まりが求められる中、住民の代表機関である地方議会の果たすべき役割と責任が格段に重くなっている。

また、地方議会議員の活動も幅広い分野に及ぶとともに、より積極的な活動が求められている。しかしながら、昨年実施された統一地方選挙において、町村では議員への立候補者が減少し、無投票の空白が広がっている。

票当選が増加するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足が大きな問題となっている。こうした中、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにするのが、議員を志す新たな人材確保につながるべく考える。

よって、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

参議院選挙における合区の解消を求める意見書

去る7月10日、憲政史上初の合区による参議院選挙が実施されたが、広範囲にわたる選挙活動の困難さ、有権者が直接候補者の政見に接する機会の減少や投票率の低下など、多くの問題点が明らかとなった。

今、東京一極集中を是正するため、地方創生に本格的に取り組んでいるところである。

この地方創生を実現し、地方の活性化を図るためには、地方の意見が国において最大限に活かされることが極めて重要であり、人口

によって単純に区割り決定する合区は、人口の少ない地方の切り捨てにつながり、地方創生にも逆行するものである。

今後の参議院選挙制度の抜本的な見直しにあたっては、地方創生を推進していくためにも、地方の意見を十分国政に反映できる地方創生にふさわしい仕組みを構築すべきであり、早急に合区を解消し、都道府県単位による代表が国政に参加することが可能な選挙制度とされるよう、強く要望する。

平成28年12月定例会 一般会計補正予算(第5号)、否決!!

予算

今回、一般会計補正予算が歳入、歳出それぞれ9817万2千円計上提案されましたが、議案審議、討論、採決の結果、賛成4、反対5で否決されました。それぞれの討論内容は以下の通りです。

反対 井上宣議員

議案第59号、この一般会計については、全体を見て当初予算で組むべき予算もあり、まだ議論が尽くされていない部分もあると思う。現地研修を踏まえて、実際、議員全員が目で見えて、それから採決するべきものと思っており、再度この一般会計補正については緊急性がある部分について、審議したほうが当然だと思っており、再度精査の上、提出していただかないと賛成しかねる。

賛成 吉田 豊議員

議案第59号、平成28年度上峰町一般会計補正予算(第5号)については、審議の段階で、私は十分審議尽くされたと思う。しかも、これを先ほどの反対討論で出たように、今後

さらに検討する余地はない、というふうに私は考えるので、原案のとおり可決すべきものと、賛成の立場で、意見を申し上げる。

反対 原田 希議員

給食費補助について、補助金要綱は作成したと言われるが、資料が全く出されず詳細な審議ができない。また、目的が貧困対策の一助になり、学力向上に繋がるということだが、十分納得できるものではないし、定住促進も目的ということだが、根拠が示されていない。財源も不確定と判断せざるを得ず、来年度以降も続くか分からない。何より新規の政策予算は、説明を添えて当初予算で提案されるべきだ。町長の任前期でそれができないのだろうが、それなら公約に掲げ再選されて十分な協議のうえ、提案されるべき。この時期にこの予算を補正で出すのは、私は無責任だと考える。

賛成 碓 勝征議員

給食費の関係は教育長の説明が、しっかりとしたものである。定住促進をするために給食費を前倒しでやることによって学力向上にもつながり経済的な問題にも大いに貢献すると思う。

文化財確保の面では米多浮立関係についても実行する段階で必要な箇所の確保等の予算も計上されており、12月の予算計上等については、当然しっかりやってもらうが、チェック機関として、それぞれやるけれども、それなりの答弁もいただいているので、この案件については賛成の立場で申し上げる。

反対 吉富 隆議員

私は、反対の立場というより、白紙撤回をして先に進めていくべきだと考える。9月の定例会において、新聞等で初めて知った。議会には何の説明もなく平成29年4月1日からの案件であったが、12月補正予算では、1月から3月までの費用1100万円が計上されている。新規事業だ

から、条例、規則・要綱等もセットで提案されるものではないか。一応白紙撤回して、そしてきちっとした素案をもとに議論を重ねて提案すれば、僕は賛成する。今の時点では、賛成しかねる。よくよく考えて欲しい。

賛成 大川隆城議員

道路、水路等インフラ整備予算は当初予算に組んでやるべきとの意見だが、関係者との用地買収等の協議が成立時点で間を置かず取組む必要があり補正予算で対応することに問題ないと判断する。

給食費無料化については9月定例会のおりから執行部より方向性が示され、財源についても税収の増、ふるさと納税の増により余力が出て十分継続的に対応できるとの判断で新年度当初からとしていたが、その後の執行部間協議で子育て支援の一助として喜ばれることは一日も早く1月から実施と提案されたもので、財源的裏付けも問題ないと確認できたので賛成する。

反対 田中静雄議員

財政的にも弾力的になってきたとのことだが、基金残高、実質公債費比率を他自治体と比較しても、まだまだ相当の差がある。私が把握した町民の大多数の方々が「一度、決めたら後に戻することはできない、やり過ぎではないか」との声だと判断した。また、県の調査では、駐屯地のヘリ隊が佐賀空港に移転したときの住民税の減額、不透明だが防衛省からの交付金の減額など、いろんな面で財政に影響してくると思う。

一気に完全無料化ではなく他自治体に遅れないように町財政とも良く協議して、無料化に向けて段階的に減額の方で考えるべきだ。

賛成 向井 正議員

私は、賛成の立場で述べさせていた。この給食費の無償化については、十分審議も尽くされており、教育長もしっかりした考えをお持ちで、今、子育て世代の親が子どもの教育費にどれだけ充てられるかというところで、その学力差が出るという

のも、実際新聞等でも出ている。そういう意味でも、給食費を学校外での教育費に充てること、子どもの学力格差の低減の一助となると思い賛成する。

反対 漆原悦子議員

学校給食の件で、9月に聞いた話と異なる部分がある。町内居住であれば、全員に還元するという話だったが、町外の学校に通い弁当持参の家庭や、町外から町内に通っている家庭は補助の対象外と言われている。また、貧困対策から学力向上へ、と言われているが、要保護、準要保護の家庭は現在すでに免除となっているので、子育て支援の一環で家庭に還元すると言われても、ますます格差が出てくると判断する。補助金要綱も出ていない。保護者の意見を取り入れるなど、様々な人の意見を聞きながら、もっと議論をして慎重に審議をして決めるべきだと考える。

特別会計（可決）

国民健康保険特別会計

5,923千円を増額し、10億8,007万5千円となる

農業集落排水特別会計

400万円を増額し、5億3,380万円となる

平成28年 第5回臨時会・第4回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			向井正	吉田豊	田中静雄	碓勝征	漆原悦子	井上正宣	吉富隆	大川隆城	原田希	寺崎太彦

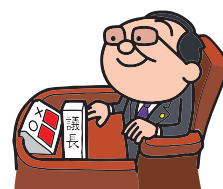
○は賛成 ×は反対

第5回臨時会												
49	上峰町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
50	特別職の給与条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
51	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
52	平成28年度上峰町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第4回定例会												
42	平成27年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
43	平成27年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
44	平成27年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
45	平成27年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
46	平成27年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
53	上峰町空家等の適正管理に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
54	上峰町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
55	上峰町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
56	上峰町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
57	上峰町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
58	上峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
59	平成28年度上峰町一般会計補正予算（第5号）	否決	○	○	×	○	×	×	×	○	×	-
60	平成28年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
61	平成28年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
62	議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	撤回										
—	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
—	参議院選挙における合区の解消を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
—	平成27年度決算特別委員会審査報告について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
—	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。（過半数議決の場合）

議会を傍聴してみませんか

毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。
 次回の定例会の会期は、2月10日（金）から24日（金）までを予定しています。
 一般質問は20日（月）、21日（火）及び22日（水）の予定です。詳しい日程は町ホームページでご確認ください。



一般質問

そこが聞きたい！

町民祭の開催は

既に実施していると認識

問 現在、いろんな各種団体が、実施している行事の他に、全てを網羅した町民祭の開催を考えてはどうか。

答 町長 他市町を見ても支援の形で協力して、お祭が実行されていると理解している。「まちづくり実行委員会」を中心に産業祭を開催して

おり、町民祭は既に実行していると認識している。

問 日韓交流のあり方について。

中学校は双方方向の交流があるが、行政、議員は一方通行であり、交流の拡大が必要と思うが。

答 創生室長 国際化を図る観点から、民間の主體的な交流



田中 静雄 議員

一般質問

三上北道路整備の進捗は

協議中で整備の段階ではない

を促していくことも必要。

答 町長 地域づくり補助金を活用していくような取り組みを強めていきたい。

要望 ヨジユ市から町民祭に招待し、上峰町を韓国に広めるためにも相互交流の推進をお願いする。

問 3月の議会でも質問したが、その後の進捗状況はどうか。

答 建設課長 九州防衛局へも格段の配慮というところで要望しているが、協議中で整備の段階までいっていない。

答 町長 周辺住民の皆さん方も含めた避難という考えで防衛補助獲得に向けて、今後説明していきたい。

問 14年前、24年前に町道に採択され、今までに2回、砂利を入れてもらったが、道路整備がされていない。異状だと思つが。

答 町長 負債を多く抱え、行き詰まった経緯を思い出してもらいたい。財政健全化に取り組むことが、私の役割だが、今後は、弾力的に住民サービスに振り向けていきたい。

小、中学校給食費無料化方針の経緯は

教育委員会で協議

問 6月議会で私は無料化に向け質問したが、他の自治体に遅れを取らぬように財政と良く相談し、段階的に減額し、無料化の方向にできないか、との質問であったが、一気に完全無料化に至った経緯と財政的に大丈夫か。

答 教育長 子育て支援ということでは

育委員会で検討し、意見の一致を得た。

問 今後のことも考えて取り組んでもらいたい。

答 町長 財政は弾力的になってきた。定住を促進し、人口の社会減を減らすためにも無料化に取り組んでいきたい。



三上北南北1号線



向井 正 議員

空き家バンクの設置は

要綱制定を進める

問 町内においては、新築住宅が増えて

いる一方で、空き家も増加しているが、空き家をいかに有効活用するかという意味でも、空き家バンクの開設が必要では。

答 住民課長 平成29年4月1日より、

「上峰町空き家等の適正管理に関する条例・規則」を施行予定で、その後、実施計画を策定し、空き家対策の推進を図り、空き家バンク制度についても要綱等を制定し、今現在の



空き家情報を高め、平成29年度中には空き家バンクの運用開始と考えている。

問 新年度からの開設に向け取り組めな

答 住民課長 要綱等の

の骨格部分に肉づけをし、要綱の新年度制定に向け邁進する。

介護サービス事業移行後は

多様なサービスが利用可能に

問 介護サービスの要支援向け一部事業が、新年度より市町村に事業移行するが。

答 健康福祉課長 今

回の改正では、介護予防訪問介護・介護予防通所介護について、市町村が地域の実情に応じ、住民全体の取り組みを含めたサービスが提供できるよう、地域支援事業の介護予防・生活支援サービス事業の訪問型サ

ビス・通所型サービスとして見直す。

問 事業移行により、介護認定の基準変更・サービスの質の低下の心配があるが。

答 健康福祉課長 申

請については従来と変わらない。なお要支援者自体については、既存の介護事業所のサービスに加え、多様なサービスが選択可能になると考えている。

八藤丘陵交差点の事故防止対策は

一時停止の標識等を要望する

問 堤地区の八藤丘陵が接する交差点は、事故が多発しているが、今後の事故防止対策は。

答 総務課長 今後、

減速帯の設置。また点滅灯の設置等も含めたところで、再度鳥栖警察署に、一時停止の標識等の設置を要望する。

トレイルラン計画の進捗は

3月下旬開催予定

問 町の活性化策の一つとして、今回鎮西山を活用し、初めての開催だが規模、内容等は。

答 創生室長 3月下

旬に開催を予定しており、大会規模は今後のコース設定次第と思っている。内容については単に大

会を開催するだけではなく、町のPRもあわせて考えている。具体的には、大会前日に町の食材を生かしたものを振る舞ったり、大会終了後にも豚汁を振る舞う等して、町のPRができればと思っている。

問 今後も町の恒例のイベントとして考えているのか。

答 創生室長 今年度

は国の加速化交付金事業を活用して開催するわけで、来年度以降も開催できるよう方策を考えていきたい。



コース予定の鎮西山林道

ほかに

○今後の観光振興について

就学前児童（5歳児）の健診は

各種健診で対応

問 切れ目のない検診で対応しているようだが、上峰幼稚園の理事長の話では、最近落ちつきのない園児が増加傾向にあるとのこと。妊娠初期から子育て期にわたる支援を切れ目なく提供するため、子育て包括支援センターなるものの設置の考えはないか。

答 健康福祉課長 幼稚園、保育園あるいは家族へどう支援していくのか考えた

要望 支援センター設置は考えていないではなく、今後そのような体制整備が必要ではないか内部検討はするように。

家庭保育に対する助成は

今後検討する

問 就任以来親子3世代同居の推進を提言しているが、その

の一翼を担うものと思うので、当町としても実現できないか。



吉田 豊 議員

答 住民課長 国、県の補助制度はないが、鳥取県大山町が実

施している。今後検討する。

敬老祝金の復活は

既に、支給中

問 現在の支給内容について、報告を。

答 健康福祉課長 18年3月に廃止され

4月から現制度に変更された。古希、喜寿、米寿、白寿の節目に併せて祝金を送っている。

問 なぜ廃止したのか。

答 健康福祉課長 平成10年代後半は、行財政改革の推進でうなった。

問 行財政改革の見直しが行われて廃止になったというが、好転したからまた元に戻してもいいのではないかという意見がでくる。

答 健康福祉課長 日本古来から行なわれている風習に節目をあわせることで納得感を得やすいということだ。

問 日本古来の風習で納得してもらいやすいと言うが、課長は、敬老祝金の復活は頭がないということか。

答 健康福祉課長 団塊の世代が平成37

老人医療、介護保険の改正は

現在国が検討中

問 検討の内容についてはどうか。

答 健康福祉課長 社会保障審議会において審議中であるが、資料に基づけば、住民税非課税世帯の外来特例上限を引き上げるよう

うだ。又、外来特例は維持しながら上限を引き上げ、住民税非課税世帯では現状を維持す

年には、後期高齢者になられる。当町でも高齢者人口が2610人、全人口に占める割合が29・5%になる。生産労働人口と総人口は減少傾向にある。将来予測を踏まえ、現状から縮減をせず、維持できよう努力したい。

る考えも。

ほかに

- 町道、西峰東西3号線、4号線の進捗について
- 防災マップ作成は
- 土地利用計画の見直しについて
- かみちやリブランドプリでの佐賀牛の販売についての総括は

一般質問

古墳公園の維持管理は



碓 勝征 議員

階段および外灯設置

問 古墳公園の維持管理は、平成23～25

年に公園内整備等がなされた。また公園北のバス停名称が「坊所から都紀女加王墓前」へ変更され、応神天皇の曾孫にあたる「都紀女加王」の存在PRにつながっている。今後の維持管理計画は。

答 文化課長 本年度事業で西入口より階段設置・公園広場へ外灯設置・コミュニケーション（宝くじ）事業で広場にテーブ

ルベンチ6台の申請計画し、次年度事業で上下水道を引き、水洗トイレ設置計画をしている。

答 町長 以前から奉仕団の皆様方の環境美化活動に感謝している。県内唯一の御陵である隣地の公園として、適切配置と改良を行い、商業施設、宿泊施設もあり、周遊できる環境施設を形成していく。

答 建設課長 中学校の交差点より北への外記溜池南のカーブ地点で、法面補修が必要だ。今後危険

町道緑ヶ丘団地南線の側溝整備は

計画にのせ年次的整備へ

問 町道緑ヶ丘団地南線のフタなし側溝のため緊急時消防車も入れぬ状況だがその対応は。

答 建設課長 井手口北住宅公園から東

に入り団地周辺整備済み、ご指摘の箇所は計画に入れ年次的に整備する。

町道御陵坊所線の安全施設付設は

法面補修し危険防止策検討

問 町道御陵坊所線へ安全施設付設は、危険カーブ地点であり町民の声として安全安心を確保すべき箇所だ。取り組みは。

答 建設課長 中学校の交差点より北への外記溜池南のカーブ地点で、法面補修が必要だ。今後危険

防止策を検討する。



法面補修必要箇所

町道三上住宅4号線側溝改良は

要望との調整協議必要

問 町道三上住宅4号線側溝改良は、この地の両側は側溝調節がされており、この箇所は浅く、結果大雨時に宅地内へ流入し迷惑だの町民の声あり、改良すべきだ。対応は。

答 建設課長 三上公民館東側側溝三差路付近で、以前より要望あり、南側側溝付設の要望もあるし、西側への流入調整が必要だ。今後地区役員と協議し検討する。



排水不良の側溝

ほかに

- 税改正（配偶者控除等の見直しは）
- 都紀女加王墓前バス停のベンチ取り扱い
- 中央公園グラウンドに背もたれベンチ設置

※前回（9月議会）掲載できなかった一般質問
○町職員OB会の存在は

ヨジユ市との交流は

双方向でのバランス良い交流を

問 ヨジユ市から訪問団がお見えになれなかったことについて、なぜ来られなかったか、私は招待状は早くヨジユ市に送るべきで、しかも4月にヨジユ市を訪問しているわけで、その席上でも上峰に来てください、ご招待しますの言葉がなぜ出ないのか、礼儀的にも問題では。

答 創生室長 地域全体の国際化を図る観点から、民間の主

体的な交流を促していくことも必要で、地域づくり事業補助金等の活用を考えている。

答 町長 創生室長が答弁したように、ヨジユ市との交流については民間交流を念頭に、相互交流のための地域づくり補助金の活用を通じ、問題解決のスキームを考えている。

道の駅の計画は

全体構想計画策定中

問 道の駅は国土交通省の事業制度でドライバーが休憩する所。駐車スペースが広くとれる、またきれいなトイレやそこに付随した農水省の補助事業を適用できるなど、今後、検討課題になってくると思うが。

答 創生室長 今、全体構想計画策定に

向けた一番最初の段階にある状況で、設計まで通常2年から2年半、最終的にオープンまで3年から4年ぐらいかかると言われており、現在、関係者と全体構想計画の策定に向けて断続的に協議をしている状況だ。



再開発が予定されているイオン周辺(道の駅含む)

ふるさと寄附金返礼品は

現在、180を超える品目

問 品目については室長が全部確認された品目か、どこかに委託された品目か。

答 創生室長 返礼品の選定業務については、納税の業務として業者のほうに委託、選定自体はそちらで、最終的には町

のほうで売買契約という形で調達をしている。

問 返礼品の佐賀牛には上峰牛は入っていないと言われているがどうか。

答 創生室長 今後は肥育農家とも意見交換して検討していく。

町施設利用料の減免状況は

全体で約6割が減免対象

問 スポーツ少年団は全額減免していると思うが、そのほかの団体で中学、高校生など部活じゃなく、それ以外の練習など、減免適用はされているのか。

答 教委事務局長 中学、高校生については、その都度規則に基づき、大会や練習の改良と危険防止

習の目的に依じて、全額または半額など教育委員会で判断しながら行う。大会については全額減免の方向で協議する。

ほかに

○小・中学校周辺道路の改良と危険防止

一般質問



井上 正宣 議員



吉富 隆 議員

上峰小・中学校給食無料化について

貧困の世代間連鎖を教育によって、断ち切ることができ

問 財政について。

答 財政課長 来年度の給食の無料化の財源の方に、ふるさと納税基金の方を充当する。また、ふるさと納税の制度が廃止になった時は、財政調整基金繰り入れなどで、予算編成となる。

問 給食無料化については、9月の定例会の一般質問の2日目に、新聞に大きく掲載されびっくりし

た。メディアに先に情報提供し、普通はありえないことだと思う。議会軽視ではないか。

答 教育長 議員の3名から質問があったから取り組みをした。

問 給食無料化については、平成29年4月からの話であり、12月議会の予算書を見ると、平成29年1月からの補正予算であり、議員の一人としてあるべきこと

ないと判断する。新規事業については、要綱がないと予算は組めないと思うが。

ふるさと納税について進捗状況は（4月から11月現在）

既に20億円達成

問 ふるさと納税の現在の状況は。

答 創生室長 平成28年4月から11月まで納税は、20億円となっている。業務については、外部委託による。

答 町長 返礼品については、5割（消費税、事務費、送料等は除く）と本町ではなっている。

問 返礼品のチェックについて。

答 創生室長 町の方で、返礼品の選定に係る基準を設けており、また生産現場

答 町長 今後しっかりと手当をしていく必要があると思う。

や、工場に訪問しチェックをしている。

要望 返礼品のチェックについては、今以上厳しく願います。



農業振興対策は

国策に準じて対応

問 農業の曲り角であるところと、ふるさと納税の町への力添えが必要不可欠であると考えている。今後の減反問題はどうか考えているか。

答 産業課長 国は50年近く減反による生産数量の調整を行ってきたが2018年度から廃止される。現状を踏まえ法人化が必要。

答 町長 転作奨励等を行うことももちろんだが、高付加価値の高い米を作るとか、フォアス工事による排水対策が完了している圃場での野菜栽培等を法人化と共に導入したいと考えている。



フォアス完了地での野菜栽培

会議録公開はいつか

でき次第公開

問 1年以上前から、教育委員会の会議録を公開し、ホームページに掲載すると

言われていたが、今だに公開されていないのはなぜか。

答 教委事務局 会議録は、町ホームページに公開するよう

に準備しているが、校正作業に時間を要しており、公開が遅れている。準備でき次第公開したい。

問 いつまで待ったら良いか。

答 教委事務局 文字にしたなら、大変

伝わりにくい物となったので、議事進行についても研究していく。いつまでということがまだ見えない状況にある。

答 教育長 確かに平成27年6月議会で

「公表に努める。ホームページに掲載する。」と言っている。また、今回、質問が出たので、早急に作成し、ホームページに掲載していく。



原田 希 議員

学校給食の今後は

学力向上の一助としたい

問 無償化の答弁で、子どもの貧困対策

という回答が何度も出ていたが、その視点で学校給食は今後どうあるべきと考えられているか。

答 教育長 子どもの可能性を伸ばすた

めに、家庭の経済的負担を少しでも軽くして、学校外の教育活動費に充てて資質を伸ばす。貧困対策というのとはそういう意味で使っている。

問 子どもの貧困という視点で考えれば、学校給食は重要な役割を占めている

と思う。例えば、現在1人1食当りの食料費は小学校250円、中学校290円。この負

担はそのまま、1食当りの単価を上げることに補助をする。

そうすることで、食材を1品でも増やすことができれば、メニューの幅も広がるし、今よりもより良い給食が提供できるのではないかと思うがどうか。

答 教育長 教育委員会としては、子育て世帯の経済的支援

として、給食を無償化することで子どもたちの学力向上の一助としたいと考えている。



給食費返金は完了したのか

還付中

問 平成27年12月16日から平成27年12月

18日までの3日間、異物混入の関係で給食が停止されたが、給食費返金の作業は完了したのか。

答 教委事務局 返金については、現在還付中。現金還付

として30人の方へ3日間分870円の返金を行っている。該当者は、当時中学3年生で全額前納されていた保護者。なお月払いで支払われた保護者については、平成28年2月分で減額調整、また全額前納の当時中学2年生以下の保護者については、次年度の口座振替時に減額調整している。

問 平成27年度の話なので、平成28年3月31日には事務的に終了していないといけないと思うが。

答 教育長 手続きが完了していないかったことは、申し訳なかった。

問 給食無償化を前倒しも、返金作業は出てくる。このような処理をについては、それに対応できないと思うが。

答 教育長 金銭については、適切に処理するよう指導していく。



一般質問

ふるさと納税

観光・移住につなげる



漆原 悦子 議員

問 プロポーザル方式での年賀状作成・印刷委託の必要性は。

答 創生室長 ふるさと納税寄附者への年賀状は、お礼を伝えると共に、町の取り組みをさらに応援いただくことを期待して送付するもの。

昨年送付の年賀状3万枚の効果は、昨年中に寄附をいただいた方の内、約400名の方から1月に再度寄附をいただいております。金額にすると640万円ある。今年度は、10万枚の発送を考え

ができることはもとより、年賀状を活用して日本の伝統文化を再認識していただきながら、※AR動画※QR動画で印象を与えるところで、年賀状は重要ではないかと考えている。ふるさと納税は、単に寄附金を集める

ツールとしてだけでなく、マーケティングの視点で囲い込みをし、リピーターからさらなるリピーター、そして観光・



納税者への年賀状

納税者からのお礼状

※AR動画とは

拡張現実（AR）を利用した動画。スマートフォンやタブレット型端末のカメラを、印刷物の特定箇所や現実の風景などに向けると、その画像に重ね合わせ動画が再生されるもの。広告などに利用される。

※QR動画とは

QRコードは対応した機器やアプリで読み取ることができ、文字情報に変換することができる二次元コード。QR動画は動画サイトへのURLをQRコードに変換して、これを読み取らせて再生を誘導する手法。

移住につなげていく取り組みが必要と理解している。

問 返礼品の状況は。

答 創生室長 返礼品リストは、現在180を超える状況で、選定はふるさと納税業

務の受託者が中心となっており、今後も拡充が行われることになっている。

要望 牛肉は町内の方の動画を使ってある

ので、今後町内産牛肉の利用につなげる検討をお願いしたい。

家庭保育給付事業

調査・検討する

問 子育て支援として0歳児保育園受入れが無理な生後八週から1歳未満の家庭保育給付事業の取り組みはできないか。

答 住民課長 鳥取県大山町で、町内在住の父母あるいは祖父母に対して乳児を日中、家庭で保育する経済的支援および愛着形式の助長ということで家庭保育給付事業が町単独で取り組みがされていますが、当町では

認定こども園整備など、ニーズに応じて子育て支援の取り組みを行っている。保育所に入るまでの事業だが、財源的な面や要件整備も必要となるので、考慮しながら他市町の状況なども調査をし検討に入っていきたいと考えている。

ほかに

- 地区公民館設置整備は
- 町長の公約評価は
- 町長選出馬への考えは

切通交差点改良は

数名同意を得て、あと一步となる

問 継続案件の切通交差点、進捗はどうか。

答 建設課長 町長、国道事務所長等々協議を重ね関係者に

事業計画、測量同意をお願いし数名から同意書をいただいた。

あと一步まで来たので鋭意努力する。

ペインティングはしないのか

地域づくり事業申請を待っている

問 目達原駐屯地外壁へのペインティングを体験学習の一環として夏休みに実施

と思いきや、今だに何もしていないが。

答 教育長 ペインティングは非常に良いことと思ってい

る。学校長も理解されている。今地域づくり補助事業があり、その補助金を活用して町民もいっしょにな

って取り組んでいただくように案内し事業申請を待っている。中学校も同じ。

青年国際交流推進さらにやるべし！

担当部署として案内、説明等アソテナを高く視野広く

問 子ども議会で英語圏との交流要望が出たように交流参加

希望はあるので早く情報提供方法を考えるべき。役場正面玄関にコーナを設けるなど工夫を。「百聞は一見にしかず」。

答 創生室長 現在創生室力ウンター、町民センター玄関に

チラシ等設置したり中学生の韓国訪問レポートを広報紙に掲載している。今後職員も事業概要説明等対応したい。今後、チラシ等、よりわかりやすい設置に努め、まとまった資料があれば広報紙で特集を組むとか考えていきたい。

上トイレを洋式にすべきだ

29年度小1トイレを洋式化に

問 上小トイレ、特に1年のトイレを早く洋式にと要請して

いたが、文科省からも「家庭では洋式が主流」だから学校も洋式化を進めてほしいと連絡があったと聞く。対応はどうか。

答 教委事務局長 トイレの洋式化について29年度に小1のトイレ工事を夏休みに実施し全体で70台のうち洋便器22台を

28台にし、洋式化率40%にしたい。洋式化は配水管から全て

椿植栽5カ年計画は怎么样了

希望なく実施ゼロ



椿植栽がまたれる鎮西山

問 28年から10本ずつ25地区5カ年計画で椿植栽実施と決めたなら希望がなかったで終わりはおかしい。町木としての認識を高め、椿油製造し返礼品活用につながる。鎮西山植栽で椿の名所にも成り得る。

答 産業課長 来年度随時植栽をお願いしていきたい。鎮西山植栽も創生室と協議し取り組みたい。成人式の記念植樹に桜と共に椿も担当課と協議し考えたい。

換えるので一台約100万円見込みで、今後補助事業の活用で年次計画を考えたい。

ほかに

○公共施設の改修および費用（予算）の年次計画は○タウンプロモーション事業の進捗状況は

一般質問



大川 隆城 議員



上峰中学校 子ども議会



平成28年11月4日、上峰町議会本会議場において、中学3年生による「子ども議会」が開催されました。総合学習の授業の一環として、事前にみんなで調査し、討論したことを生徒代表として執行部に対し、提案質問しました。大人が気づかない中学生目線での鋭い質問内容でした。

中学生の皆さんには貴重な体験となり子ども議会を終えてそれぞれの感想を書いていただきました。

議長 高島 陸人

僕は、議長の役をを行いました。緊張しましたが、しっかり進行することができたので良かったです。いつもはなかなか会えない課長さん達や町長さんと一緒に議会ができて良かったです。課長さん達が、僕達や町の人達のためにいろいろな取り組みをしていることを知りました。そして、より良い上峰町にするにはどうすれば良いかということに、僕たちの意見も参考にして考えてくださって本当にありがとございます。そのおかげで、とても住みやすく楽しい町になっていっていると思います。でもまだまだ上峰町に住みやすくできると思います。だからこれからもさらに上峰町をよ

り良くするためにもっと上峰町のことを知り、どのようにしたらいいかを考えていきたいと思いました。

今回は、あまり体験できない議長の役を行うことができて本当に良かったです。この体験を今後に活かしていけたら良いと思います。

議長 宮原 里於

上峰町の役場にこんなに立派な議会場があるとは思っていなくて、リハールサルの時に驚きました。生まれた時から上峰に住んでいるのにまだまだ知らないことだらけだと思ったのを覚えています。

私は議長という大変貴重な体験をさせて頂きました。学校で司会をするときと違って、目の前にたくさんの大

子ども議会

人の方が座っていて緊張しました。ですが、普段見ることができないところで答弁を聞けたことは、良い経験になりました。

議会だよりを読んだことはありましたが、実際に議会が行われているのを見てみるとイメージと違っていました。特に答弁は、議員の質問に対して関連したことなども加えながら丁寧に答えられていて、なるほどと思うながら聞いていました。

今回、子ども議会に参加して今までよりもさらに上峰町に興味を持つことができました。

ふるさと納税について

原 徹也 議員

僕は、ふるさと納税

について調べました。上峰町はふるさと納税額が全国で上位ということがわかり、とてもビックリしました。町長おまかせというプロジェクトもこういうことをしているのか分かります。とてもためになりました。僕は、初めてニュースでふるさと納税のことを見たとき、どのようなものだろうと少し気になっていました。だけど、ふるさと納税のことを詳しく教えて頂き、わかることができました。僕は子ども議会を通じて、上峰町の色々なことを知ることができました。僕以外の議員の人たちもすぐ発表が上手で、また新しい友達の良いところを知ることができました。特に、皓一朗君のパワーポイントや真理君の発表の仕方はとても上手でした。子ども議会はとてもいい経験になりました。これから、この子ども議会の経験を活かして頑張りたいです。

上峰町のゴミ対策について

佐藤隆太郎 議員

僕は、上峰中学校の代表で出席しました。そして上峰町のゴミ対策について発言をしました。発表するときはとても緊張したので言葉が忘れることも少しありましたが、大失敗をすることはなかったので良かったです。上峰町のゴミのポイ捨ての実態の質問と看板の設置を提案しました。提案に対して、とても丁寧に回答してもらったのですっきりしました。他の人の質問に対してもとても丁寧に答えて頂きました。他の人も鋭い質問をしていてすごいと思いました。特にすごいと思ったのは日高君の再質問です。

答える人が難しいと思うような質問をしていたのすごいと思いました。今回の子ども議会を通じて、上峰町についてより詳しくなり、とても自分のためになりました。子ども議会での貴重な体験を残り少ない学校生活で上手く活用しようと思います。

上峰町の防災について

日高皓一朗 議員

僕は今回の子ども議会でも質問をしました。質問するにあたり、上峰町について色々なことを調べ、上峰町の良いところも、悪いところも知ることができました。調べたことは簡単でしたがまとめて、言葉にする作業が一番

難しかったです。子ども議会当日はリハーサルとは違い、とても緊張しました。リハーサルではスラスラ読めていた文章も本番は噛んでしまい、とても恥ずかしかったです。僕は防災の情報伝達の方法、災害時の物資供給、上峰町のハザードマップについて質問しました。でももう一度、詳しく質問したかったです。今回子ども議会に参加して上峰町の問題点を知ることができました。子ども議会でも質問したことを、役場の方々に解決して欲しいです。



国際交流について

江副 芽衣 議員

私は今回、子ども議会に議員として参加しました。そこで国際交流についての質問と提案をしました。国際交流の具体的な取り組みとして提案したのは次の四つです。一つ目に上峰町のホームページの言語に英語・中国語・韓国語を増やすことです。二つ目に上峰のPR動画を上峰中のコンピュータ部と共同で製作することです。三つ目に英語圏の学校と姉妹校協定を結ぶことです。四つ目に佐賀大学の外国人留学生とホームビジットで積極的に交流することです。私はこの四つの提案をすることで、多くの人に

上峰の魅力を知ってもらい、上峰の小・中学生の外国語の学習意欲の向上が期待できると考えました。この質問・提案に役場の方は分かりやすく答えて頂きました。私は今回、子ども議会に参加させて頂き、意見を分かりやすく伝えることができた。貴重な経験をさせて頂き有り難うございました。

上峰町の小・中学生の通学路の整備について

大川 真理 議員

11月4日に行われた子ども議会でも、上峰町の道路について、自分の意見を発表させて頂きました。普段、上峰町の道路のことなど考えたこともなかったで

す。考えれば考えるほど今まで気づいたことのない道路の危ない部分やその道路の不便さなどが思い浮かびました。そして、その危ない部分や不便さを自分の意見として発表させて頂きました。自分の意見に対して、とても分かりやすい回答を頂きました。

僕は三つの道路について質問しました。どの道路に関してもその道路についての規則からこういう風になってあると自分も納得して聞けました。でも不便な道路は改善してもらいたいと思いました。この会議で上峰町の改善すべき点が道路だけでなく、他のメンバーの様々な指摘を聞いて、まだまだあるんだなと思いました。



上峰町の教育施設について

福島 浩太 議員

僕は今年はいじめて子ども議会に参加しました。最初は上峰町に改善すべきところはないのではないかと思いましたが、それぞれのメンバーが色々なところに着目して考えました。そうすることで多くの問題点を見つけることができました。提出した案がすべて現実になるとは限りませんが、それでもみんな色々な案を出し合うことができ、非常にいい体験をすることができました。

実現に近づくのか考えなければいけませんでしたが、三つ提案したなかで一番主張したかったことに対して検討して頂けることになり、とても嬉しく思いました。僕が気づかないような他のメンバーの意見も聞いていてすごいなと思いました。このような貴重な体験をさせて頂いたことはとても光栄なことだと思います。

土地利用からの魅力的な町づくりについて

江頭 幹人 議員

僕はこの子ども議会を通して、上峰町に興味を持ち、将来上峰町の政治に参加したいと思いました。僕が考えた案は、「土地利用からの魅力的な町づくり」

で、「もっと商業施設を建設すべき」と言いましたが、南部では田んぼは法律により守られているというのを初めて知りました。だから僕は大人になったら、南部の守られている田んぼをさらに守るために、後継者を増やし、生産を効率よくするというようなことを行ってみたいと考えました。また、上峰町の議員さん達が、僕たちのためにいろいろな支援を下さっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。タブレット学習やカミング学習などでたくさん勉強して、将来上峰町の役に立てるような人になりたいと思います。また、このような機会があればもう一度やってみたいです。



公共施設の改善について

鶴田 涼介 議員

僕はこの子ども議会に出席させて頂いてとても良かったと思います。なぜなら、自分の言いたいことや考えたことをしっかりと相手に主張することができたからです。

普段の僕はあまり考えずにどんなものもを言ってしまう、一貫性はありませんでした。これはこれから直していかなければならない僕の課題でした。これを克服するために子ども議員になったのではありません。僕は何かに新しいことにチャレンジしたかったからです。自分の考えや思ったことを言葉にすることはとても難しかったです

が、なんとかまとめることができました。本番はとても緊張しましたが、でも自分の言いたいことが言えたと思います。

僕にとってこの体験は大きな経験であり財産となりました。自分の言いた意見を述べる事ができました。この経験を活かして、中学校生活をさらにより良いものにしていきます。

常任委員会視察研修報告

振興常任委員会

視察研修報告

委員長 大川 隆成

平成28年10月24日～26日

(1)鹿児島県鹿屋市柳谷（通称やねだん）、(2)宮崎県高原町に視察研修実施。

(1)鹿屋市柳谷地区（通称やねだん）地域再生―行政に頼らない住民自治の地域づくり

やねだんでは自治会長豊重哲郎氏のリーダーシップで地区民300人で地域再生を19年間継続中。人材こそ貴重な財産と位置付け、全員参加で唐芋栽培、芋焼酎製造販売、好気性微生物で土着菌製造販売。唐がらし栽培、加工して韓国輸出等取り組まれている。地域住民の自主労働提供こそが「結」であり共生・協働の意識を高め活動の輪を広める。

◎故郷創生塾

地域リーダー養成のため「やねだん故郷創生塾」を平成19年から開講。毎年5月、11月に開催されこれまでの塾生は580人、全国各地で活躍中。各市町の首長議員も多数参加され佐賀県参加者も多数おられるとのこと。

(2)宮崎県高原町

農業の6次産業化と観光産業振興

○畜産に力を入れてあり、特に肉牛の肥育素牛生産が盛ん。

佐賀にも素牛導入多数。

○牛・豚・鶏の肉加工品（ハム、ウインナー等）紅茶、お菓子類、アイスクリーム、きのこ加工品を農事組合法人を設置し他にないオンラインワン商品の製造販売に取り組む。

○観光産業振興

神武の里、たかはる、と神武天皇ゆかりの地が多く地名となっている。高千穂峰、皇子原公園、御池、天逆鉾等々。町観光協会に町補助960万円支出。協会が指定管理として公園、キャンプ場を委託されている。観光施設運営支援として温泉郷旅館組合施設利用助成等実施。

※「日本で最も美しい村」連合加盟

小さくてもオンラインワンの輝きを持つ美しい村を基本理念にまちづくり。



やねだんでの研修

総務厚生常任委員会

視察研修報告

委員長 漆原 悦子

平成28年11月21日（月）から

23日（水）

研修先

鳥根県おおね邑南町だいにん
鳥取県大山町

邑南町は、平成16年10月に3町村合併、県中央部に位置し、山合いの自然豊かな町で面積419km²（内山林86%）人口11,265人（50.1%世帯）高齢化率42.7%の町で攻めと守りの定住プロジェクトを実践、日本一の子育て町を目指す取り組みがなされる。目玉施策として

- ・中学校卒業まで、医療費無料
- ・保育料第2子以降 完全無料
- ・病児保育室は、年々利用増加傾向にあり、民間医院1カ所を含む町内2カ所対応
- ・高校（県立）への支援として保護者の負担軽減のバス定期無料や町奨学金貸与事業も充実

特記事項として、町内生産物を利用、6次産業化として、A級ブルメ構想として実践されていた。

鳥取県大山町は、県西部にあり、人口16,850人（平成28年11月1日現在）日本海に面し、中国地方最高峰の大山が南側にそびえる自然豊かな環境の町、面積189km²のまちでした。

子育て支援の取り組みは、大山町子育て世代包括支援センターで、

妊娠期から子育て期にわたる支援を切れ目なく提供し利用者支援、地域連携・広報と業務を分け地域における子育て世代の安心感を作り出している。

特に特筆すべきことは、生後8週から一歳未満の乳児を家庭で保育している父母を対象に経済的支援および乳児との愛着形成の助長を図るとした月3万円の支給は、保育園での0歳児枠が少なく待機となってしまう保護者にとっては、平等な支援として興味ある内容でした。

5歳児検診については、事業効果として関わりの薄くなった年代の児、親（保護者）と関わりを持つ機会ができた。また就学前の大切な時期に育児相談を行うことで、育児支援に連がり、保護者に5歳児検診という意識が定着しつつあると同時に支援が必要な児についての治療に結びつきやすい利点が見られる。



邑南町視察研修の一コマ



がんばれ！上中 部活動紹介 7

女子バレーボール部

顧問 古川卓也・古賀美加

キャプテン 熊坂 綾

副キャプテン 大川マリヤ

私たち女子バレーボール部は、2年生4人1年生6人の計10人で日々の練習に励んでいます。私たちの目標は、一つでも多くの試合で勝利し、県大会に出場することです。試合の時は、練習通りにいなくて苦しい思いをすることもありました。そんな時は「次1本」「どんまい」とお互いに声を掛け合います。そして笑



顔を忘れずとにかく声を出し、コートにいるメンバーとベンチにいるメンバーで心をつにして頑張っています。

また、技術面だけではなく、私たちは感謝の気持ちを大切にしています。バレーボールができることや、支えて下さっている周囲の方々、そして同じチームや他のチームのメンバーの方などに感謝の気持ちを持って接するように心がけています。

これからも、一日一日を大切にして、礼儀の面、プレーの面ともに、もっと上に上がれるように頑張りますので、温かい応援をよろしくお願いします。

行事への参加

10月～12月

- 10月2日 上峰小学校体育大会
- 10月3日 2市4町と目達原駐屯地勉強会
- 10月9日 町民体育大会
- 10月27日 市町行政講演会
- 10月29日 上峰中学校文化発表会
- 11月3日 町民文化祭
- 11月6日 消防団防火訓練
- 11月18日 佐賀東部地区防衛協会創立55周年及び
東部地区防衛協会青年部創立30周年記念式典
かみちゃりグランプリ
- 11月20日 上峰幼稚園お遊戯会
- 11月27日 青少年育成大会
- 12月10日 町主催福岡ソフトバンクホークス野球教室
- 12月18日 おたっしゃ館もちつき交流会
- 12月20日 同和問題市町講座



◀白熱したかみちゃりグランプリ

あしがき

新春を迎え町民の皆様には、目標に向かって一歩踏み出されたことと存じます。

我が上峰町も町民総意により確固たる基盤を築きあげるために町議会としても努力していく所存でございます。

「議会だより」についても町民の皆さんに親しんで読んでいただくよう編集委員一丸となつて研鑽を重ね、よりよい紙面作りに励んでいきますのでどうか皆さまのご指導、ご協力をお願いいたします。

(田中)

議会だより

広報編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 大川 隆城 |
| 副委員長 | 田中 静雄 |
| 委員 | 原田 希 |
| 委員 | 吉田 正 |
| 委員 | 向井 正 |